

令和7年度 第1回碧南市スポーツ推進審議会 議事録

日時 令和7年6月5日（木）

13時28分～13時59分

会場 碧南市臨海体育館 第2体育室

欠席者 伴野義雄 鈴木哲夫

※敬称略

進行：中嶋 課長

○市民憲章唱和

岡本 部長

1 教育長あいさつ（小澤 教育長）

- ・教育長就任のあいさつ
- ・委員の皆様にはそれぞれの分野から忌憚のない意見をいただきたい

2 副会長あいさつ

- ・来年度開催のアジア大会に向けて今まで以上にスポーツ推進を図っていく

3 議 題

(1) 令和7年度スポーツ課事業計画について（本田 補佐）

資料に沿って説明

～質疑応答～

委員 A いろいろな全国大会やイベントを行う上で、LINE や Instagram 等の SNS を活用した PR を行っていく話がありましたが、テレビの取材を活用した方法は考えていますか。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。アジア大会につきましては、順調に準備が進んでおります。皆様におかれましては、ボランティアの登録等ご協力いただき、本当にありがとうございました。全国大会やアジア大会等を PR していくにあたり、SNS に加え、メディアの活用についても考えております。

既にキャッチさんとは打ち合わせをさせていただいているのですが、月に 1 回、アジア大会の特集番組を企画されており、碧南市のいろいろな取り組みをご紹介していただくということで、4 月下旬に第 1 回の放送もしていただいております。大会やイベント等につきましては、報道発表という形で報道各社に投げかけ、PR していきたいと思っております。

アジア大会まであと 1 年半を切り、今後も PR を進めてまいりますので、周知のお手伝いをよろしくお願いいたします。

委員 B 5 ページに記載の協定締結の一覧表について、パートナー協定とホームタウンパートナー協定はどういった違いがあるのでしょうか。

事務局 “ホームタウン” と表記されているものにつきましては、例えば、臨海体育館をホームとして、拠点として活動していくという位置づけになっているものになります。FC 刈谷さんにつきましては、ホームタウンという表記ですが、どこかのグラウンドを拠点とするものではなく、広くこのエリアを“ホームタウン”とするという考え方のもと、協定を結んでおります。よって、実際に碧南市の施設をホームとして活動されているのは、アイシンティルマーレさんのみとなっております。

委員 C 資料の 4 ページをご覧ください。11/2（日）全国レクリエーション大会 in あいち 碧南会場 「元気ッス！スポレクリレー」についてですが、今年度は全国版で碧南会場を開催することになりました。また、スポーツ少年団の交流会も兼ねて行い、盛り上げていきたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

副会長 こういった大きな全国大会は久しぶりのことになるかと思います。皆様の協力のもと碧南市のスポーツを盛り上げていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

(2) その他

中学校の部活動移行について（森川先生）

地域移行という名前でスタートし、地域連携、地域展開という言葉になっております。碧南市においては、昨年度から拠点校部活動という形で、自分の学校にやりたい種目がないという子どもたちが市内のほかの学校に登録をして、練習や大会に参加するという制度がスタートしています。今年度からは合同部活動という取り組みも始まっております。

部活動の大会についても大きく様変わりしていきますし、碧南市としても、子どもたちがやりたい種目・形でスポーツに親しむ機会を得られるよう模索していきます。皆様にもいろいろなところでご協力いただけたらと思っていますので、よろしくお願いいたします。